

2. 実務課程 5科目

パック受講料 会員74,000円 / 一般89,000円 (消費税込み)

~ 各科目紹介 ~

1. 特許審査基準 (新規性・進歩性) ~ 事例を交え、審査基準を詳細に解説 ~

科目別受講料: 会員20,000円 / 一般24,000円

日時: 2022年7月5日(火)、6日(水)
いずれも13:30~16:30

講師: 栄光特許事務所
弁理士 木村 伸也 氏



Zoom講義
3時間×2日間 = 約6時間

レポート課題あり

本科目では、知財実務担当者や法務関係者のために、特許審査基準について、事例を交え詳細に解説いたします。

審査基準の考え方の趣旨を説明します。そして勘違いしやすい点についても触れます。また、注目される判決について説明します。

双方向: 講義中に質問を受け付けます

研修項目は予定です。後日変更することがございます。

	研修項目		研修項目
7/5 火	I. 新規性 1. 新規性とは 2. 本願発明の認定 3. 引用発明の認定 4. 新規性の判断手法 5. プロダクト・バイ・プロセスクレームの考え方 6. 用途発明の考え方 関連判決の紹介を随時交えます	7/6 水	II. 進歩性 1. 進歩性とは 2. 進歩性の判断手法 3. 当業者 4. 論理付けのための主要要素 5. 数値限定発明 6. 選択発明 関連判決の紹介を随時交えます

2. 特許審査審判中間手続き (意見書・補正) ~ 拒絶理由通知への対応、事例を挙げて考え方を学ぶ ~

科目別受講料: 会員20,000円 / 一般24,000円

日時: 2022年7月12日(火)、13日(水)
いずれも13:30~16:30

講師: 栄光特許事務所
弁理士 木村 伸也 氏



Zoom講義
3時間×2日間 = 約6時間

レポート課題あり

本科目では、知財実務担当者、および法務関係者のために、特許の審査・審判における中間手続き(意見書・補正)について、審査官・審判合議体の判断過程を考察するとともに、拒絶理由への合理的な対応を事例を挙げて詳細に解説いたします。

双方向: 講義中に質問を受け付けます

研修項目は予定です。後日変更することがございます。

	研修項目		研修項目
7/12 火	1. はじめに 2. 拒絶理由通知 3. 拒絶理由対応時の補正 4. 特許法36条(明細書等の記載要件) 5. 特許法29条1項(新規性) 事例の紹介を随時交えます	7/13 水	6. 特許法29条2項(進歩性) 7. 特許法29条の2(拡大先願) 8. 特許法39条(先後願) 9. 特許法37条(発明の単一性) 10. 特許法36条4項2号(先行技術文献に関する情報の開示要件) 11. 特許法44条(分割) 事例の紹介を随時交えます